

2023年 10月 28日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人子どもアミーゴ西東京  
代表者・役職名 氏名 田島 和也

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

だがしや楽校

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007年度からの西東京市における放課後学童クラブの民間委託を契機に、学童クラブ父母会の連絡会に関わってきた保護者が中心となり設立。自らが民間委託の受け皿になると共に、子どもに関する行政の責務を明確にするために法人を作りました。2011年度から、児童センター事業を受託。地域との協働、連携実現のため、受託事業だけではなく、地域連携事業も継続的に行なってきました。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

我々が日常的に関わっている子ども達、子ども達の家族が地域とつながっていき、地域の一員となることは、子どもにとっての安心安全なまちづくりにつながると思います。そういった機会が、学童クラブでの生活や、児童館活動の延長線上で、だがしや楽校の場において創出されることは、施設運営事業と地域づくりが結びつく形と言えるのではないかと考えます。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

市の公園を貸し切り、出店団体を公募。それぞれの団体の活動に応じて出店する。  
市内メキシコ料理屋さんによるキッチンカー出店、紙芝居劇団によるワークショップとステージプログラム、演芸ボランティアによる南京玉すだれパフォーマンス、チアダンスやダンスのパフォーマンス。  
当団体が運営する学童クラブから、子ども達、保護者も協力して、手作り品販売や遊びのブースの出店。児童センターを利用する中高生による遊びブースの出店。  
子ども達の日頃の技を見せ合う「ペーゴマ大会」  
当団体理事によるフランクフルト、飲み物、アイス、駄菓子の販売。  
上記のようなコンテンツでイベントを運営します。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

来場者約800名。だがしや楽校の目的の一つ【自分見せ】を基にステージブースを設け、学童・児童センターにかかわる子ども達が『魅せる・見る』場面を作れたことが良かったです。自分を表現できたことで、子どもたちの自信や希望に繋がり、各施設での遊びがさらに盛んになり、その後の生活の中でも変化が見られました。保護者の方々からも連絡帳を通じてたくさんの反響をいただけたことは、子どもたちの成長を実感できた瞬間でもありました。そして今年度はアミーゴを卒業したOBOGが輝く出店や、地域の方たちも出店していただき、地域の繋がりがより深くなりました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

これまで市内南部地域で実施をしてきましたが、北部地域の方が行きやすい場所、また来場者が増えた場合のスペース確保の為に実施場所の選定が今後の課題であると考えます。  
 昨年度よりも多くの方に足を運んでいただいたため、子どもだけでなく保護者、地域の方ともより協力して、イベントをつくりあげていく必要があると感じました。一緒に作り上げていくという観点からもさまざまな方面へのアウトリーチや、実施に向けての広報の工夫をしていければと思います。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。





## だかしや楽校を開催しました！

### だかしや楽校って？

だかしや楽校とは、駄菓子屋が地域の「場づくり」に果たしてきた役割が注目されて全国に広がった、山形県発祥の地域のお祭りです。子どもアミーゴでも早くからその活動に注目し、学童、児童センターの子ども達や団体が、地域とつながる場づくりの活動として取り組んできました。

コロナ禍や、天候に左右されることが多かったここ数年のだかしや楽校ですが、今年度は例年通り9月に開催することができました。

当日は夏の暑さが残る一日でしたが、およそ800名近くもの皆さんに会場に集っていただきました。朝早くの準備から夕方まで、多くの子ども達や保護者の方々が、それぞれの地域の学童クラブや児童センターの出店・イベント運営に関わってくれました。

手作り小物や遊びのブース、ステージ発表など、小学生・中学生・高校生を中心に、小さい子から大人まで多くの方が混ざり合って、だかしや楽校の主旨である「自分見せ(得意なもの・好きなもの・好きな遊び)」をしていました。

だかしや楽校といえば…の、メインイベント！ベーゴマ大会準決勝・決勝では、高校1年生男子が優勝！決勝戦で対戦した3年生男子は、敗戦に悔しがり涙を見せる瞬間がありつつも、尊敬のまなざしをむけているようでした。大会の最後には「次は絶対勝つてやる！」と意気込みを伝えた3年生男子に「また来なよ」と余裕の勝利宣言！

来年のベーゴマ大会はさらに熱い戦いとなりそうです。

今年度は地域からの出店も多数ありました。

【メキシコレストランDESPERADO】さんにフライドポテトやからあげの販売をしていただきました。子ども達にはかき氷が大人気◎・【劇団どろんこ座】さんによる紙芝居とワークショップや【Yo~KI】さんによる南京玉すだれの発表で会場はさらに大盛り上がり！例年に増して、地域とのつながりが深まったのではないのでしょうか。

そして、4年ぶりに、一般社団法人キッズスマイルFPいわきさんより、事務局長さんご家族、震災支援活動に携わっていた大学生に会場に集っていただきました。震災直後よりだかしや楽校を通して交流を続けていたのですが、コロナ禍が落ち着いたことで、今年度久しぶりにお会いすることができました。来年度はぜひ子ども達同士の交流も復活できるといいですね！

\*本事業は真如苑 2023年度多摩地域市民活動公募助成事業として実施されました。



各学童・児童センター  
工夫を凝らした  
お店を出しました♪

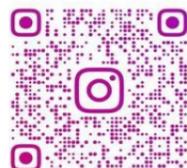
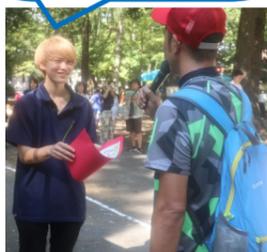


オープニングセレモニー  
「ほくたちのお店に  
ぜひ来てください！」



「劇団どろんこ座」さん  
による紙芝居♪

ベーゴマ大会優勝！  
高校生の力を見せて  
くれました。



Instagram

アミーゴ通信 2023年10月号

発行日：2023年10月1日

発行者：松本 毅

住所：西東京市西原町1-5-13-101 電話：042-478-0056

e-mail：info@kodomoamigo.org



ホームページ



Children's Amigo  
Nishitokyo  
子どもアミーゴ西東京



フェイスブック

2023年10月号

NPO法人子どもアミーゴ西東京

# アミーゴ通信

## 8月11日(金・祝)自然塾を実施しました！



びしょ濡れで楽しめました◎



みんなでつくとおいしいね♪



2023自然塾  
たのしかったね  
またあそぼう！

8月11日(金・祝)にあしがくぼキャンプ場にて自然塾を開催しました！  
台風の影響で、急きょ日帰りでの開催となりましたが、小学校5年生～高校生まで、計14人の卒所生が集まりました。

キャンプ場では、思いっきり川遊び！水を掛け合ったり、岩から飛び込んだり、のんびり浮かんだりと楽しみました。昼食作りでは火おこしや調理を分担して、おいしいカレー&ピザを作りました。学童時代、コロナ禍で4年生合宿にいけなかった中学1年女子は、初めてのドラム缶風呂を満喫したようです。一人ひとりの「やりたい！」を大事にして過ごす中で、マシュマロを焼いてはおしゃべりをし、気が付けば違う学童出身の子どもたちが、ぎゅーっと距離を縮めて、繋がる時間となりました。

豊かな自然の中で、目一杯楽しんだ子ども達。  
帰る頃には「もっと遊びたい！」「泊まりたい」と言葉を残して、帰っていったのでした。

来年こそは、晴天の中でみんなの「やりたい！」をもっともっと叶えることのできる二泊三日の自然塾を実施できるといいですね！

ご協力いただいた卒所生保護者の方々本当にありがとうございました。